

よりよく生きるために、自ら考え、判断し、実践する子どもの育成 ～望ましい生活習慣の育成を目指した歯・口の健康づくり～

栃木県那須烏山市立境小学校
6学級 98名

1 はじめに

本地区は、周囲に那珂川が流れ、里山や田畑が広がり、自然豊かな農山村地域である。児童の家庭は、三世代で構成された兼業農家がほとんどで、共働きが多い。

学校教育目標に「豊かな体験をとおり、自ら学び行動する心身ともにたくましい子どもの育成」を掲げ、児童一人一人が夢と希望をもって、充実した学校生活を送れる学校づくりを目指している。そして、児童の学力向上と人間形成に力を入れ、健康や安全に関する知識の習得と体力の維持向上を図り、心身ともにたくましい児童をはぐくむ学校づくりに努めている。

2 研究のねらい

健康教育の充実のため、「歯・口の健康づくり」をとおして、望ましい生活習慣の育成についての指導の在り方をさぐるとともに、正しい知識をもって、自ら判断し、健康な生活を実践できる子どもの育成を目指している。

3 取り組みの様子

(1) 授業研究 (1年 学級活動 じょうずな歯みがき)



学級活動や保健体育の授業をとおして、健康や生活習慣に関する児童の意識や知識を高めている。

児童は、自分の食習慣や生活習慣をふり返り、健康の大切さを学んでいく。健康面や生活面での自己管理ができる人間に成長していってくれることを目指している。

(2) 日常活動 (全校生 給食後の「歯みがきタイム」)



給食後、全校生が一斉に歯みがきタイムに入る。各教室で歯列図を見ながら正しい磨き方を解説する音楽を聞きながら、5分間歯磨きを行う。

丁寧な歯みがき実践がうがいの習慣化にも結び付き、インフルエンザ予防にもつながった。

(3) 児童活動

(ゆるキャラ&標語コンクールの実施)



「歯と口を大切にするぞ!」という気持ちを共有するために、児童会が主催し、全校生が参加してコンクールを行った。

【最優秀作品】 標語は、「はみがきはキレイ、健康第一歩」が選ばれた。今後の様々な取り組みに活用する予定である。

(4) 啓発活動

(学校歯科医による保護者対象の講話)



授業参観後のPTA研修会にて「歯と口の健康から生活習慣を考えよう」をテーマに学校歯科医を講師に招き講話を開催した。熱心に聞き入っていた保護者からの感想には、「自分の歯で食べられる幸せに感謝し、親子でむし歯なしを心がけていきたいです。」があった。